

2025年10月9日

報道関係者各位

株式会社 VLC セキュリティ

**VLC セキュリティアーリーナの実践型トレーニング・インシデント対応支援が日本情報通信のサービスに採用**

～実践型トレーニング／インシデント対応支援が「NI+C インシデント緊急収束サービス」に採用～

VLC セキュリティグループの株式会社 VLC セキュリティアーリーナ（東京都港区、代表取締役社長兼 CEO 石原 紀彦、以下「当社」）は、NTT グループの日本情報通信株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：桜井 伝治、以下、NI+C）との既存のパートナーシップをさらに発展させ、NI+C が提供する「NI+C インシデント緊急収束サービス」において、当社の実践型トレーニングおよびインシデント対応支援が同サービス提供にあたり採用されたことをお知らせします。

本取り組みにより、インシデント対応時の課題となる専門性を要するアラート判断や初動遅延、封じ込め手順・人材の不足、平時の練度不足等を、専門家による標準化されたトリアージと現場併走、定期的な診断・教育によって解消。検知から初動までの時間（MTTA）および収束までの時間（MTTR）の短縮と被害の最小化をサポートし、自社単独での対応が困難な組織におけるインシデント対応力の向上に貢献します。

※本サービスの提供主体は NI+C となります。当社は、同サービス内で活用される各種支援・コンテンツを VLC セキュリティグループ各社と連携し提供します。

**【サービス概要（NI+C 発表に基づく抜粋）】**

「NI+C インシデント緊急収束サービス」は、以下の3つの要素を基盤として企業のセキュリティ運用を有事・平時の両面から支援を提供するサービスです。

## 1. セキュリティアラート対応

セキュリティセンサーのアラート対応をお客様に代わって実施し、エンドユーザー（従業員等）への直接対応も行います。通常、セキュリティアラートが上がった際、アラートの危険度/緊急度を分析するプロセス（トリアージ）が必要ですが、これには専門知識が求められるため、多くの企業で対応が難しいという課題があります。本サービスでは、サイバー攻撃やウイルス感染の疑いがある場合の初期対応まで迅速にサポートし、情報セキュリティ部門の負担を軽減します。

## 2. インシデント収束支援

1の結果、サイバー攻撃や情報漏洩が確認された場合に、インシデント発生を認定し、収束に向けた対応を支援します。被害状況の確認や「デジタルフォレンジック」を通じた証拠の保全・調査を行い、必要に応じて関係者や警察、メディア対応もサポートします。被害規模や影響に応じた迅速な対処を提供する点が特徴です。

※デジタルフォレンジックが必要となった際の費用は別途お見積もりとなります。

## 3. 平時の診断・教育支援

インシデントが発生しない平時の対応として以下の2つのサービスを提供します。

- ・ 年1回のペネトレーションテスト
- ・ 3カ月に一度の加入企業限定セキュリティ勉強会

その他、セキュリティ相談窓口や各種脆弱性診断、インシデント訓練やトレーニング等、さまざまなオプションを提供予定です。

**【サービス情報（NI+C 発表に基づく抜粋）】**

- 名称：NI+C インシデント緊急収束サービス
  - 概要：アラート対応／収束支援／平時の診断・教育を一気通貫で提供
  - 価格：基本プラン 月額 77.5 万円～（税抜、1 年契約・年払い）
    - セキュリティアラート対応 年間 36 回分
    - インシデント発生時の情報整理
    - インシデント発生時の収束支援 年 1 回分（発生した場合）
    - インシデント発生時のフォレンジック対応の優先権（フォレンジック費用は別途お見積り）
    - 年 1 回のペネトレーションテスト実施
    - 年 4 回のセキュリティトレーニングの提供
    - 各種オプションメニューあり
  - 提供開始：2025 年 10 月 8 日（水）
  - 詳細：<https://www.niandc.co.jp/sol/incidentservice>
- ※価格・契約・提供条件の詳細は NI+C にご確認ください。

**【サービスに関するお問い合わせ先】**

- 日本情報通信株式会社 セキュリティ&ネットワーク事業本部
- セキュリティソリューション部 担当：中山、友岡、南
- [sec-contact@niandc.co.jp](mailto:sec-contact@niandc.co.jp)

**【日本情報通信株式会社について】**

日本情報通信株式会社（NI+C）は、1985 年に NTT と日本 IBM の合併会社として設立し、2025 年に 40 周年を迎えます。システム開発から基盤構築、クラウド化への対応、社内外データ統合と AI による分析、EDI サービスやセキュリティ、ネットワークサービス、運用保守までをトータルに提供しています。「おもひを IT でカタチに」をスローガンに、お客様の経営課題解決に貢献できる真のベストパートナーを目指してまいります。

会社情報：<https://www.niandc.co.jp>

**【株式会社 VLC（ブイエルシー）セキュリティアーナ】**

株式会社 VLC セキュリティアーナは、日本およびアジアにおいてサイバーセキュリティ人材育成事業を展開しています。セキュリティトレーニング専用施設を活用し、あらゆる業種・階層のお客様に対して、世界レベルの最新攻撃手法をリアルタイムに反映した実践的かつ最先端のトレーニングを提供しています。実際のサイバー攻撃を演習で体験し、防御シナリオを習得できるプログラムを通じて、企業や組織の防御力強化と即戦力となる人材育成を支援しています。

※株式会社 VLC セキュリティアーナは 2025 年 10 月 6 日に株式会社サイバージムジャパンより商号を変更し新たなスタートを切りました（「サイバージム」はトレーニングブランドとして継続）

会社情報：<https://vlcsecurity.com>

## 【VLCセキュリティグループについて】

VLCセキュリティグループは、2025年10月6日にバルクグループから各社商号、ブランドを刷新し、よりセキュリティへのコミットメントを強固なものとして新たなスタートを切りました。



商号：株式会社 VLC セキュリティ（旧：株式会社バルクホールディングス）

主な事業内容：

あらゆる課題に応じた、企業・組織のサイバーセキュリティ・情報セキュリティを総合支援  
グループ各社の管理・運営・営業支援、グループ全体のマーケティング・ブランディング



新商号：株式会社 VLC セキュリティコンサルティング（旧：株式会社バルク）

主な事業内容：

NIST Cybersecurity Framework(CSF)、サイバーセキュリティ経営ガイドラインなどの業界スタンダードにのっとったサイバーセキュリティ対策の課題可視化と解決に導くコンサルティング、ISO27001・ISO27017・P マークなどの認証新規取得から運用・更新支援を通して、組織のセキュリティ態勢強化を支援



新商号：株式会社 VLC セキュリティアリーナ（旧：株式会社サイバージムジャパン）

主な事業内容：

最新の攻撃手法をリアルタイムに反映した実践的で最先端のサイバーセキュリティトレーニングを専用施設で提供し、高度化・多様化するサイバー脅威に、現場で即対応できる人材育成を支援

※2025年10月6日付で、本店所在地を下記へ移転しました

東京都港区虎ノ門4丁目1-40 江戸見坂森ビル



新商号：株式会社 VLC セキュリティラボ（旧：株式会社 CEL）

主な事業内容：

AIをはじめとする最先端技術の活用、高度な知識を持ったホワイトハッカーによるインシデントレスポンス、侵入テスト/攻撃者対策の構築、セキュリティ製品提供と導入や運用を通して、企業のサイバーセキュリティ態勢の全体最適化を技術面から支援

※2025年10月6日付で、本店所在地を下記へ移転しました

東京都港区虎ノ門4丁目1-40 江戸見坂森ビル

### 株式会社 VLC セキュリティ



事業内容：グループ各社を通じたトータルセキュリティソリューションの提供

本 社：東京都港区虎ノ門4-1-40 江戸見坂森ビル

代 表 者：代表取締役社長兼 CEO 石原 紀彦

WEB サイト：<https://vlcsecurity.com/>